

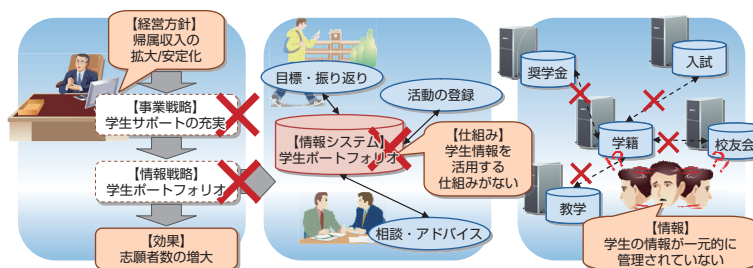
大学情報化構想策定支援コンサルティング

グローバル化・多様化時代を勝ち抜くための事業戦略・情報戦略はお持ちですか？
貴学の大学経営基盤強化に向けて

貴学は、経営方針に基づいて情報を有効に活用できていますか？

貴学の事業戦略・情報戦略、情報活用について、悩みを抱えておられますか？

- 「経営方針と事業が上手くリンクできていますか？」
→ 【解決策】 経営戦略に基づく事業方針が必要です。
- 「戦略的な情報の活用はできていますか？」
→ 【解決策】 IR*オフィスの設置・情報を戦略活用する仕組みが必要です。
- 「欲しい情報は直ぐに見られますか？」
→ 【解決策】 情報の統合/連携が必要です。



※IR=Institutional Research

大学情報化構想策定支援コンサルティングとは？

上記の悩みを解決するために、貴学のトップ（経営方針）、現場（事務職員、教員）、顧客（高校生・学生・卒業生、保護者など）の問題点・ニーズ、シーズを調査し、貴学にマッチしたコンセプト、ビジョン、取り組みテーマ、業務・システムの施策を貴学とともに検討し、情報化構想の策定をご支援します。

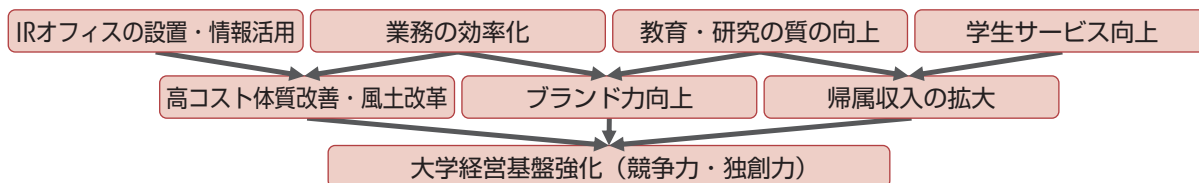
- 事業戦略の策定（コンセプト、ビジョン）
- 情報戦略の策定（取り組みテーマ、施策）
- 情報化構想の策定（あるべき姿、システム要件）

- ① 経営層・学生・事務職員・教員の4者の視点で検討
- ② 顧客である学生のライフサイクルを中心に検討（高校生～卒業生）
- ③ 学内・外の問題点・ニーズ、シーズから検討

大学情報化構想策定のメリットと効果とは？

貴学において大学情報化構想を策定することで、短期・中長期の方向性（あるべき姿）、業務・システム施策、新業務・システムの要件が明確化され、大学経営基盤強化に向けたシナリオが完成します。

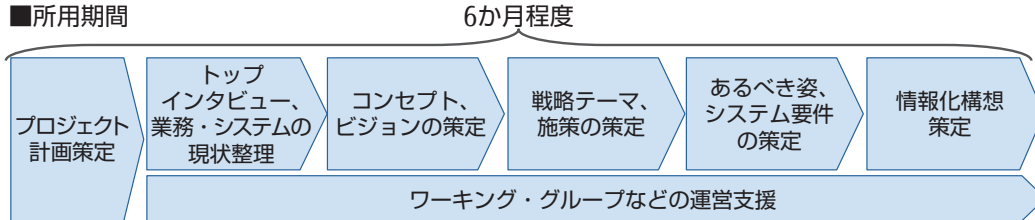
- 貴学の方向性の明確化、業務・システム施策の明確化、新業務・システム要件の明確化



大学情報化構想策定支援コンサルティングの内容

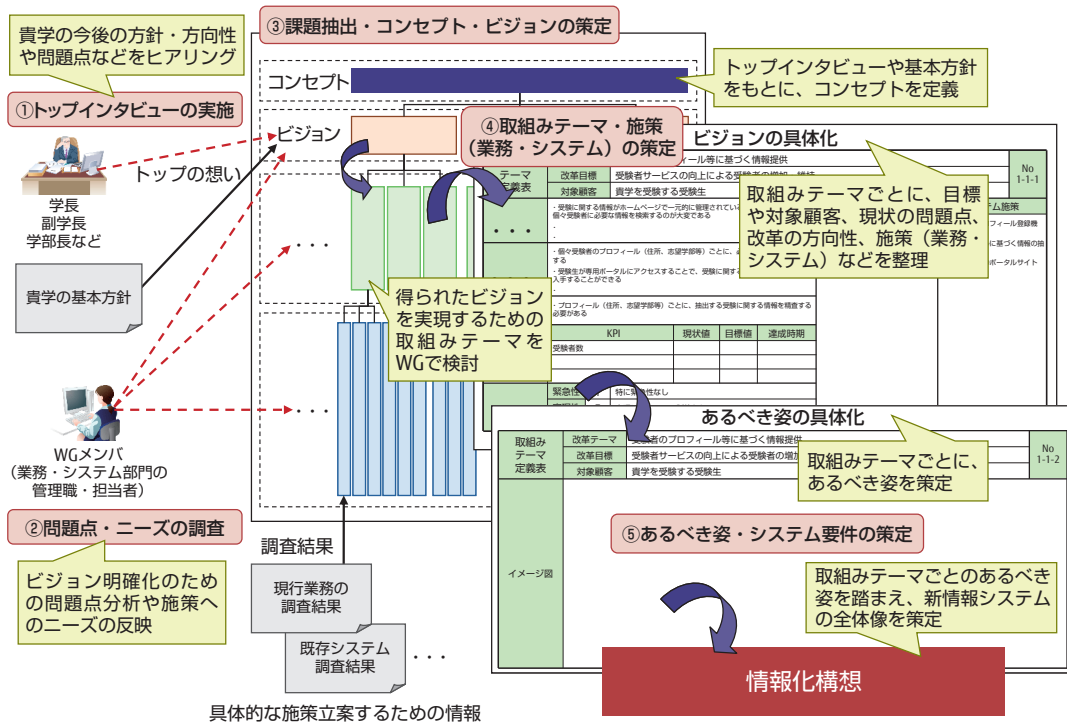
(1) コンサルティングの流れ

コンサルティングの実施にあたっては、基本6か月の期間で、経営層・事務職員・教員・学生・情報システム部門のご担当者に参加していただくWGを運営し、貴学のあるべき姿、情報化構想の策定をご支援します (WGの運営の例:教育・学生WG、研究・財務WG、IR・統合DBWG)



(2) 情報化構想策定の進め方

弊社では、貴学のトップインタビュー (経営層)、事務職員・教員・学生の問題点・ニーズを調査し、コンセプト、ビジョン、施策へと展開し、情報化構想の策定をご支援します。



弊社のご支援の特徴

コンサルティングにあたっては、弊社から貴学に合わせてカスタマイズした進め方、手法、ドキュメントのテンプレートをご提示するとともに、プロジェクトに参加していただくメンバーへ先進事例などをご紹介し、情報共有・意識付けを行います。

- ①ステークホルダー参加型WG・会議の運営支援
- ②国内・海外の業務・システム・情報活用の先進事例紹介
- ③貴学の現状業務・システムの体系整理 (AsIs)
- ④情報化構想、業務・システムのあるべき姿の策定 (ToBE)

お問い合わせ先

株式会社 富士通総研

コンサルティング本部 行政情報化グループ

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1ニューピア竹芝サウスタワー TEL:03-5401-8404

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fri/>